

KEY NEWS

一軒一軒への手配りで 読者と共によりよい社会へ 地域課題の解決と向き合う

日本では2003年ごろからCSR(企業の社会的責任)が強く叫ばれるようになり、当社でも清掃活動や寄付、慈善活動に取り組んできました。その後、CSV(共有価値の創造)経営に取り組み、社会課題解決に乗り出す企業が増えていきました。我々は圧倒的世帯到達率を誇る「ハッピーメディア®」の力を存分に活用して、2012年から児童虐待防止運動や交通事故防止といった社会課題、地域課題の解決に取り組んでいます。



9月には児童虐待を未然に防ぎ、子どもたちの笑顔を守ることを社会全体の責任と考えていけるよう啓発する「オレンジリボン岐阜ネット」に寄付をいたしました



「児童虐待防止運動」は全国の情報誌で展開。「189」番を目立つように配置し、関心の高まりに尽力しています



「サヨナラ15・16」(2018年から2020年実施)。15年連続交通事故死者数全国ワーストから脱却しようとスタートしました

各戸配布で家庭に届くから 一人ひとりの心に呼びかける

毎年11月は厚生労働省が定める「児童虐待防止推進月間」です。家庭や学校、地域など、社会全体で児童虐待問題に対する深い関心と理解を得られるよう、各地でさまざまな広報・啓発活動が展開されます。中広グループおよびVC各社でも、「地域みっちゃく生活情報誌®」を中心とする「ハッピーメディア®」で記事を掲載し、地域の理解を深めています。

誌面で訴える児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」番は、地域の児童相談所に繋がります。「あの家庭、問題を抱えているかもしれない」「子育てに自信をもてない」といったとき、すぐに電話でき、通話は無料。通告・相談内容などの秘密は守られます。

『地域みっちゃく生活情報誌®』は、家族の会話や休息の場にあり、多くの人々が手に取り、目を通して頂きます。衣食住に関わるお得意情報で暮らしを豊かにしてもらっただけでなく、直接、手元に届くから「社会や地域が抱え

る課題」の解決に繋がる情報を届けたい。それが我々の思いです。

社会課題として取り組む「児童虐待防止運動」は、情報誌を手にとった人が、もし気になる家庭があったとき、誌面に「189」番の記事を見つけ、電話をかけてくれたら…。一人でも救われる子どもや保護者がいるかもしれない。そんな思いで取り組んでいます。地域課題では愛知県の「交通事故死連続ワースト脱却キャンペーンサヨナラ15・16」を実施。愛知県警察本部協力のもと交通安全に関する情報を提供し、県内の事故死者数減に取り組ましました。

社会課題に正面から向き合う 約1,164万部にできること

中広グループは、全国の「189」番通件数がゼロになるまで「児童虐待防止運動」を続ける覚悟です。また、新たな社会課題・地域課題に直面した際には、その解決に全力で取り組む考えです。

紙の情報誌を毎月、各家庭に手配りするこ

とは地域の「いま」を知り、「いま」を伝えることに繋がると自負しています。これは地域の見守りに直結します。全国で約1,164万部にまで成長した「地域みっちゃく生活情報誌®」の発行網は、お得情報、行政情報、エンタメ情報の提供に限らず、発行エリアが「いま」直面している課題に真正面から向き合います。「地域経済の活性化」「日本を元気に!」の大テーマと共に、「社会課題」「地域課題」の解決といった重要な側面をもち合わせています。

活動の継続には、各エリアで賛同くださっているスポンサー各社の協力が不可欠です。共に地域をよりよくするパートナーを常に求めています。企業が地域と共に生きるために大切なことではないでしょうか。



毎月家庭まで情報誌を届けてくれる配布員の皆さん

COLUMN

地域や社会の課題に向き合う 社会活動の一助となるべく、地域社会に貢献する情報誌づくり

愛情の反対は 無関心である

先月の中頃、ふと夜空を見上げると雲の隙間から満月。アメリカの農事暦では、狩りを始めるハンターズムーン(狩猟月)と呼ばれるそうです。感染者も減少し、全国各地で秋祭りが復活。中止が続いていたさまざまなイベントも再開しています。年間を通じて最も経済が活性化化する年末年始、活況を呈することを願います。

活況とは、人が動き人が集う元気なさまで。これが我が社のパーパス(存在意義)であり、そのためにパンデミックにも臆せず、全社員の団結とDX化に努めてきました。地域社会の元気のために広告の力を発揮して、より一層、貢献したいと考えます。

先日、子どもが行方不明になり遺体となって発見される痛ましい事故がありました。また、通園バスの車内に置き去りとなり、熱中症で亡くなった幼児もいました。そして、悲惨な児童虐待事件も後を絶ちません。本当に胸が痛みます。どうしてこんな事故事件が起きるのでしょうか。

子どもは社会の宝です。この国の未来そのものです。そんな大切な存在を死なせてしまつてよいわけがありません。マザーテレサは「愛情の反対は無関心である」と言いました。市井に生きる我々が、もう少しの関心をもてば、防げることもあるのではないかと思います。

コロナ禍の影響、物価高、円安と、直近3年にわたって受けた日本経済の傷は深く、格差を拡げています。この殺伐とした世相に、心を癒す役割を情報誌が担えないか。そう考えています。今月は厚生労働省が定める「児童虐待防止推進月間」です。全国で発行するハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』は、地域や社会の課題とどう向き合えばよいのかを考えてみましょう。

地域課題へ 人々の心を動かす

「我が社のパーパスは?」と尋ねられたら、私は即座に「広告業を通して地域社会への貢献です」と答えます。これは我が社の企業理念であります。「具体的には?」と訊かれれば、「ハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』の発行です」と申し上げます。

広告の価値と役割は「人を動かす」ことです。飲食店や美容院へ足を運ぶ、スクールや塾に通うなど、日常生活をエンジョイするための広告

情報を誌面に掲載していますが、それだけではありません。首長のコラムを読み、暮らしている地域行政の方向性を理解いただくのも、「人を動かす」ことです。経済活動のみならず、社会活動にも影響を及ぼすのが情報誌の役割であり、我々のできる具体的な「地域社会への貢献」であると考えています。愛知県下の「地域みっちゃく生活情報誌®」は、2018年から1年半にわたり「交通死亡事故を無くそう」と県民に訴えてきました。交通事故死者数の全国ワーストが16年も続いていた愛知県にとって、交通死亡事故撲滅は地域の大きな課題でした。県下43誌2,649,836部、毎号誌面に工夫を凝らして多くの人々の声を取り上げ、交通事故防止を呼びかけた結果、愛知県は2019年にワーストから脱却しました。もちろん、我々の情報誌だけの功績ではなく、愛知県警を中心とした県民挙げての取り組みがあったのは、言うまでもありません。しかし、情報誌を通して地域課題と向き合い、人々の心を動かした実績であり、愛知県下67.1%のご家庭に全戸配布しているからこそ、成し得た社会的活動でもありました。

●中広の地域社会課題解決への取り組み



児童虐待防止推進月間 発行部数最大級の情報誌で 啓発活動を

『地域みっちゃく生活情報誌®』の発行部数は、11,642,788部(10月末)です。同じ志をもった仲間との頑張りにより、発行部数国内最大級のフリーメディアに育っています。有難いことであります。最大級であればこそ、この国の社会課題と向き合えると考えています。現在取り組んでいるのは、「児童虐待防止の啓発活動」です。

悲しいことですが、全国各地で児童虐待は頻繁に起こっています。近年では国会で議論され法律が整備され、児童相談所の拡充、警察の介入など対策が強化されました。厚生労働省は毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、全国

的に「189」番をはじめとする啓発運動を展開しています。

改正児童虐待防止法と改正児童福祉法が成立したのは2020年ですが、『地域みっちゃく生活情報誌®』で取り組み始めたのは10年前に遡ります。これまでも、そして今後も児童虐待の課題と向き合っていきますが、情報誌でできることは2点あると考えています。

一つは、「189」番の認知度を上げることです。毎号誌面で訴え続け、この活動に賛同する協賛社を集めて掲載する。もう一つは、児童相談所(児相)の取り組みを丁寧に伝えること。事件事故なら「110」番、火事なら「119」番と、誰もがすぐに「189」番へ連絡できるように粘り強く周知し、行政窓口である児相の活動を応援していきたいと考えています。

児童虐待は深刻な社会課題です。情報誌で解決できるような問題ではありません。しかし、毎号約1,164万世帯にお届けし、約2,500万人の読者の目に触れるという「地域みっちゃく生活情報誌®」の発信力は、「虐待防止推進」への社会的関心をより高められると信じています。啓発活動を真摯に継続し、協賛社を増やしていくことが我々にできる向き合い方なのです。

月を愛でる心 森羅万象の存在は必然

「都にて月をあはれと思ひしは 数よりほかのすざびなりけり」。月を詠んだ西行法師の和歌です。都にいた折に、月を「あはれ」と思っていたのは物の数ではない。単にすざび(遊び・暇つぶし)であったという意味です。西行は都で月を見て「あはれ」と思ったのは、暇つぶしでしかなかったと。そして、「飽かずのみ都にて見し影よりも 旅こそ月はあはれなりけり」。飽きることなく都で仰いでいた月よりも、旅の空で眺める月影こそは、あわれ深く思われるとも詠んでいます。諸国を放浪しながら月を愛でた西行は、幽玄の境地を拓き「ものあはれ」を表現しました。

古希を過ぎてから私は「この世は無常であるからこそ不要なものはなく、この地球上のすべてのもの、森羅万象の存在は必然である」ということがわかってきました。ましてや、命を失う交通事故や虐待といった不条理を放置することはできません。微力ではありますが、地域の課題、社会の課題に対して、我々は啓発活動を続けていきたいと考えています。それこそが、『地域みっちゃく生活情報誌®』を発行する意義なのです。今月は「児童虐待防止推進月間」です。

地域の皆さんに感謝をお届けするイベント

イベント企画

地域密着にこだわったイベントコンテンツ

9月の連休、「地域に実りを、地域に感謝を」をテーマとしたクライアントのイベントのお手伝いをいたしました。地域の多くの人に来場いただくために、地元人気店のスイーツを販売したり、人気インフルエンサーを講師に迎え各種体験会を実施しました。今回、初めての試みとして地元の幼稚園や保育園の園児たちが一所懸命描いた「夢の家」の絵を展示。イベント期間中、絵を描いてくれた園児とその保護者が多数来場し、自分が描いた絵を見つけて笑顔で撮影している様子を見たときは、改めて「今回のイベント運営に携わることができてよかった」と感じました。

今回のイベントは年明けを予定しています。今回以上に地域の人の笑顔が溢れるイベントにできるよう、企画の内容を構築し、年明けのイベントも任せていただけるように尽力してまいります。

(名古屋支社・岩本)



情報量満載！保育園・こども園ガイド

地域みっちゃん生活情報誌

各園の魅力満載で家庭に無料でお届け！

『さきっぺ！』を発行している宮城県大崎市では毎年10月から保育所の入所申込書が配布され、11月から申し込み受付が始まります。この時期に合わせて、毎年「地元の保育園・こども園ガイド」を実施しています。

大崎市立保育園長会と保育園・こども園ガイドの企画を始めて、今年で3年目です。

少子化により待機児童が少なくなったことや、入園を検討している保護者から「コロナ禍で見学に行きにくい」などの声もあり、年々、掲載する園が増えてきました。今年は過去最高の情報量で、全7ページの大ボリュームとなりました。

各園の特徴が存分に表現される誌面で、園児たちの笑顔や元気に遊ぶ姿、行事の様子などを写真付きで紹介しています。読者からも「誌面を見て実際に見学に行きました」「園の特徴を知ることができてよかった」「子どもたちの笑顔で元気をもらえた」など、たくさんのうれしい声をいただきました。これからも地域のできごとや新店舗、イベントなど、さまざまな情報をお届けして地域を元気にしていきます。

(宮城ブロック・佐々木)



群馬県特殊詐欺被害防止キャンペーン

地域みっちゃん生活情報誌

誌面×ウェブ×ラジオで、いざ、サギ退治！

年々、増加するオレオレ詐欺やキャッシュカード詐欺盗などの特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組みとして、群馬県では10月度「群馬県特殊詐欺被害防止キャンペーン」を実施。詐欺被害の未然防止に効果的とされる「特殊詐欺電話対策装置」を抽選で300人にプレゼントする広報PR企画を展開しました。

広報には、県内で発行する地域みっちゃん生活情報誌『フリモ』（7誌418,500部）、「フリモ」アプリ、Yahoo! バナー広告、エフエム群馬ラジオCMを活用し、応募用の特設ウェブサイトへ誘導。期間中は想定を上回る多くのご応募をいただきました。

県民の特殊詐欺被害に対する関心の高さを実感すると共に、特に情報誌を手にした読者からウェブサイトへ多くのアクセスをいただいたことは、紙メディアである「地域みっちゃん生活情報誌」が「そこに住む人にとって最大のSEO対策となる」という証だと考えます。被害者の9割は65歳以上の高齢者である特殊詐欺。本企画が、一人でも多くの被害者を減らし、特殊詐欺被害のない未来への一助となれば幸いです。

(群馬支社・武)



魅力を発信し、商店街の活性化へ

地域みっちゃん生活情報誌

地域に根差した情報誌だからできる提案を

滋賀県大津市の歴史ある商店街の一つである「丸屋町商店街」を4ページ立てで紹介しました。商店街離れや感染症拡大の打撃があるなかで、日常的な商店街利用者を取り戻す策を検討されていたとき、隣の長等商店街を取り上げたことがきっかけとなり、依頼を受けました。

巻頭特集で歴史と組合員の皆さんの思いを、次の見開きページでは商店街に連なる店舗をずらりとご紹介。見応えのある誌面を届けることができました。読者からは「近くの商店街をまとめて見られてうれしかったです。久しぶりに足を運んでみようと思いました」などの声をいただきました。

10月8・9日には3年ぶりに大津祭が開催。「訪れた人が楽しめるイベントをこれからどんどん増やしていきたい」と話す組合の方々と共に、今後も「びわこ」も地域活性化への一助となるように提案してまいります。

(滋賀支社・田中)



VC TOPICS 新規創刊

福島県「月刊こみっと」

「月刊こみっと創刊について」

福島県にハッピーメディア『地域みっちゃん生活情報誌』として2誌目となる『月刊こみっと』が創刊いたしました。

10月22日・大安吉日に「月刊こみっと」(エリア・マークス株式会社／佐藤賢二代表取締役)を創刊しました。福島県南部の白河市・西郷村の2エリアで25,500部での発行となりました。この地域には、現在、街に関するメディアがほとんどありません。過去にフリーペーパー等が存在した時期もありましたが、定着しなかったエリアです。しかし、2016年に、福島県1誌目として創刊した「月刊すかっと」エリア同様に地元愛が強く、歴史や文化面で魅力ある街という強みがあり、当初から発行を見

据えていたエリアでした。今回の創刊にあたり、地元の意識や期待度を図るために『月刊こみっと』は3月に春号、7月に夏号としてパイロット版を32ページ構成で発行。創刊に向けた地ならしと事前調査を行いました。その結果、地元誌に対する一般読者の期待度が高いという結果を得られ、月刊誌として正式に踏み切りすることとなりました。

今後も読者にとって魅力ある情報誌を発行するという理念一本で、新鮮な情報とタイムリーな広告を掲載します。



CHUCO CLUB

多治見市にて広報セミナーを実施

当社と多治見市の包括連携事業の一環として、多治見市役所職員と多治見市役所のインターン生にむけて、広報の基本をテーマとした研修を実施しました。どんなに素晴らしい取り組みや政策も、広報がなくては地域住民には伝わりません。そのため、広報は各部署において重要な役割を担います。研修では、広報の定義共有から始まり、広報媒体の選び方、原稿の構成方法や、掲載時の確認事項を伝えました。セミナー後の事例相談では、個別の事例に対して具体的なアドバイスを行いました。多治見市からは「大変有意義なセミナーをありがとうございました」との言葉をいただきました。今後も包括連携事業を通じて、多治見市とさまざまな連携をとり、シティブロモーションを通じて地域に還元していきます。



▲広報セミナーの様子

(クリエイティブ部・佐藤)

岐阜大学で情報誌作成を講義

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学にて「情報誌の作り方」に関する講義を実施しました。岐阜大学社会経営システム学環では、高校生に向けて岐阜大学や学環の魅力を伝える情報誌を作成中。そのヒントとして、当社がもつ情報誌作成のノウハウを伝えました。発行の目的、コンテンツ創出、ページネーション、レイアウト、撮影、そして



▲32人の学生とともに情報誌の作り方を学びました

キャッチコピーのつけ方など、我々が普段、業務としているすべてを伝授。講義の最後にはプレゼンテーションについても伝え、実践的な内容で締めくくりました。講義に続いて、チームに分かれて実際に2ページのコンテンツとレイアウト作成に挑戦。学生たちは講義の内容を振り返りながら懸命に取り組んでいました。将来、情報誌づくりで活躍する人材が生まれると幸いです。

(クリエイティブ部・遠藤)

新卒者の今 -2022.vol.6-

気づけば入社してあっという間に半年以上が過ぎ、おかげさまで変化の多い充実した毎日を過ごしています。特にイベント・セミナー部は東海地方を中心に全国各地で仕事をさせていただけます。その分、多くのお客様、講師の方にもお会いでき話を聞けるので、日々学びと気づきを得ています。また講演会やイベントに来られた方の笑顔を見ると「次も頑張ろう!」と元気をもらえます。これからも楽しみながら自分自身で完結できる仕事の量を増やし、新しいことに挑戦していけるよう、日々精進いたします。

(イベント・セミナー部・寺尾)



CHUCO CSR 当社では、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます

ボランティアとしてマラソンイベントをサポート

10月10日(月・祝)、「子宮頸がん予防啓発」をコンセプトにした、まちなかマラソン「高崎美スタイルマラソン」の運営ボランティアに参加いたしました。NPO法人ラサーナと高崎市の共同で開催されるマラソン大会は、ランナーや応援者に走る楽しさと共に、検診の大切さや健康について呼びかけ、健康を考えるよい機会にもなっています。656人のランナーが快適に完走できるよう、市内のさまざまな企業や団体がボランティアに参加しています。走路の見回りや、周回合図、参加賞の配布、特別賞の贈呈、SNS投稿誘導など、他のボランティアスタッフと協力し合い、一つのイベントをサポートすることができました。

(群馬支社・村田)



部署だより NO.106

DX開発事業部 デジタルマーケティング部 企画課



▲デジタルマーケティング部/企画課スタッフ

デジタルマーケティング部企画課は岐阜本社、鈴鹿支店の各拠点で日々、奮闘しています。業務内容は、当社の「販促ブログ」の発信、クライアントへのメルマガ配信のほか、情報誌等で活用しているLINE公式アカウントの運用、アンケート制作、集計、発信です。その他、「地域みっちゃん生活情報誌」のレスポンスアワード集の制作や「HAPPY MEDIA contentsサイト」(表紙・巻頭特集登録などのコンテンツ)の管理・運営、営業職が担当している各企業のサイト制作など、幅広く手掛けています。

最近では、求人媒体「アットカンパニー」を多く取り扱うようになり、反響が出るサイト制作や応募状況の確認、アフターフォローとして毎月のアクセスレポートの作成など営業職のフォローもしております。

今後も地域経済活性化のため、地域の元気のため、営業担当やクライアントのサポートに全力を尽くしてまいります。

(デジタルマーケティング部・南)

編集後記

ハッピーメディアは、当社がもつメディアの総称です。そのなかでも「地域みっちゃん生活情報誌」は地域の方に対して知っていただきたい情報を一冊にまとめ、毎月、対象地域のご家庭へ手配りでお届けしています。編集の大きな指針に「地域の人を読んでHAPPYになれるかどうか」があります。今月号でお届けした児童虐待防止運動については、悲しい事実を深掘りするのではなく、二度とそのようなことが起こらないよう、「189」番の周知に力を入れたり、防止活動をしている方の活躍に光を当てていきたいと考えています。中広は総合広告代理店であり、メディアの発行元です。日本全国で発行しているため、マスメディアと言えます。しかしながら、前途のように私たちの「情報伝達活動」は世の中の「マスコミ」とは異なります。地域に「HAPPY」をお届けできる。そんな「マスコミ」でありたいと考えます。

(業務執行戦略室・岡本)



社会課題解決へ 企業や行政、地元団体と手を取り子どもに笑顔を

中広では児童虐待防止運動を展開。事業を継続させるために、CSVとして取り組んでいます。多様な条件から引き起こされるセンシティブな問題に対して、企業が取り組める範囲はわずかなのが現実です。しかし、虐待防止の第一歩となる、子ども虐待の問題やそれらをサポートする環境があることを知っていただくために、情報誌等を通じて伝えていくことは当社にも可能です。児童相談所虐待対応ダイヤル「189」番の認知度向上を筆頭に、地域と手を取った取り組みを紹介します。

継続的な取り組みで徹底周知

全国の児童相談所が2021年度に児童虐待として対応した件数は20万7,659件で、統計開始以来31年連続で最多を更新しています。2020年度以降、高止まり傾向にあるものの、新型コロナウイルスによる外出自粛や臨時休校などで、虐待が潜在化している可能性もあると、厚生労働省は発表しています。

中広では2018年から「地域みっちゃんく生活情報誌」で児童相談所虐待対応ダイヤル「189」番の役割を読者に広く伝え、認知度を高める等の児童虐待防止運動を展開しています。同年3月に東京都目黒区で起きた女兒(当時5歳)が亡くなった事件は、当時、多くの人に衝撃を与え、「こんなことが起こる社会ではいけない」という声が聞こえました。「189」番に関する記事によって認知度の高まりを示すアンケート結果もあり、思いを風化させないために、当社では啓発活動を継続しています。

ケース2 広がる啓発広告の輪

協賛を受けて啓発記事を発信していく取り組みでは、記事協賛に限らず自社の広告内でもご協力いただける企業があります。愛知県瀬戸市・尾張旭市で発行する「アサヒセト」に事例が多くあります。オレンジ色の美しい背景に自社の虐待防止運動に関するメッセージを掲載した株式会社壽商事をはじめ、自社広告内にオレンジリボンをつける企業も出てきました。営業活動を通じて、同じ志をもつてくださる企業の輪の広がりを実感しています。



ケース3 啓発動画・ツール制作

愛知県は11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、児童虐待防止啓発ティッシュの配布(名古屋を除く)や啓発動画の公開をしています。また、虐待相談対応件数の多くが小学生の案件であることから、新小学1年生となるのを機として、親子で児童虐待について考えてもらえる啓発資材を配布。当社はプロポザルに参加し、受託の運びとなりました。動画に使用する笑顔写真の募集は、当社が児童虐待防止について呼び掛けているInstagramアカウントの利用を提案しまし

た。動画は、ティッシュのデザイン面に記載されたQRコードからアクセスできる仕組み。愛知県児童家庭課のYouTubeチャンネルにアップし、ティッシュを手にした人以外にも動画を見てもらえるようになりました。当社が平日頃、取り組んできたことが地元自治体の活動の一助として実を結びました。



啓発用ティッシュ



QRコードからYouTube「愛知県児童家庭課公式チャンネル」へ誘導する

地域ぐるみで見守れる社会に

家庭という小さなコミュニティで起こるため、家庭内での解決が難しいのが虐待問題です。「おかしいかも…」少しでもそう感じたのであれば、ダイヤルできるコールがあること知ってほしい。児童相談所虐待対応ダイヤル「189」番は無料・匿名での相談が可能です。地域で子育てをサポートする、そんな機運を高めるために、今後も情報誌の力で呼び掛けてまいります。

「地域みっちゃんく生活情報誌」の取り組み

● 啓発記事協賛 ハートフルメディア株式会社「フリモかわら」

「児童虐待防止運動」広告において、毎月15~16社のクライアントより協賛名刺広告をいただいています。これは2020年2月号まで愛知県での取り組み「サヨナラ15-16」に対する読者反響の大きさと、交通事故死者数全国ワースト脱却という成果があったことが大きく影響しています。協賛お願いの訪問をしたところ、多くの共感とご支援をいただきました。児童虐待問題は根深く、脱却や解消できるものではないため、成果を示すことは難しいと感じています。クライアントに納得いただき、引き続き応援いただけるように、読者の目に留まり続ける広告であることを願っています。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

会社概要 商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)
東証・名証 証券コード[2139]

創業 1978年
資本金 4億430万円
従業員 449名(2022年10月末現在) グループ全体 582名

事業内容 プリーマジン事業 イベント・セミナー事業
セールスプロモーション事業 通信販売事業
クロスメディア事業 VC事業(ボランタリー・チェーン)

理念 広告業を通して「地域社会への貢献」(地方創生に!)

社是 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!)
機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)

社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

グループ会社 株式会社アド通信社西部本社 http://www.adtsu.co.jp
株式会社中広メディアソリューションズ https://chuco-ms.co.jp
株式会社ケイ・クリエイト http://www.k-create.co.jp
株式会社ケイビーエス http://www.post-kps.co.jp

第45期 基本方針

スローガン 愚直なまでに報恩謝徳の精神で
テーマ DX時代を駆け抜けろ!

オフィシャル運営サイト

- 中広企業サイト ●中広採用サイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ
- わくわく生活(雑)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●販促blog
- HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見様サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動
- 日本地域メディアネットワーク(JLMN)

公式アカウント

- Facebook ●YouTube
- Instagram ●Twitter

リンク集はこちら

加盟団体 ●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

2017年取得

2016年取得

営業拠点

- 本社**
岐阜本社
岐阜市東興町27
TEL.058-24-2622
- 名古屋本社**
名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
- 営業本部**
フリーマガジン事業部
〔北海道〕
SORA編集部
滝川市東町6-1-11
TEL.0125-74-6169
旭川市東光6条6-4-7
TEL.0166-85-6158
- 〔宮城県〕**
とみずい編集部
仙台市泉区泉中央1-33-7 2F
TEL.022-341-4809
- なうてい!編集部**
名取市手倉田字諏訪532-1 1F西
TEL.022-797-8541
- さきっぺ!編集部**
大崎市古川旭5-3-2 2F
TEL.0229-25-8792
- 〔群馬県〕**
高崎フリモ
前橋フリモ編集部
高崎市新保町139-1 2F
[高崎]TEL.027-353-8714
[前橋北西版]TEL.027-353-8711
[前橋南東版]TEL.027-353-8713
- 広城営業部
TEL.027-353-8714
- 玉村フリモ・伊勢崎フリモ
太田フリモ編集部
伊勢崎市茂呂町2-35-22 6F
TEL.0270-61-6117
- 桐生みどりフリモ編集部
桐生市本町6-27-1 3F
TEL.0277-47-7635
- 〔埼玉県〕**
クッキーズ・とねじん編集部
久喜市久喜中央2-8-23 3F
TEL.0480-38-6881
- 〔福井県〕**
福北フリモ編集部
福井市大蔵寺2-9-1 7F
TEL.0776-97-9552
- きらめきくらぶ編集部
敦賀市野神40-277-2 1F
TEL.0770-24-2622
- 《岐阜県》**
GIFU編集部
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-24-27512
- SARUBOBO編集部
高山市下岡本町2967-2
TEL.0577-34-5579
- Wao!Club・mintoup
はしまる編集部
大垣市加賀野4-1-13
[Wao!]TEL.0584-75-1960
[mintoup]TEL.0584-77-4088
[はしまる]TEL.0584-71-6226
- GUJOプラス編集部
郡上市八幡町小野91-1
TEL.0575-67-0655
- たんどんくらぶ編集部**
各務原市那加米町14-1
TEL.058-380-6066
- きらくらぶ編集部
岡崎市大通1-6-3
TEL.0575-24-4334
- かにさんくらぶ編集部
可児市今渡字町1595-190
TEL.0572-55-7009
- おりべくらぶ編集部**
多治見市太平町4-38
TEL.0572-21-2626
- らせるくらぶ編集部
土岐市泉山西町1-4 3F
TEL.0572-55-2033
- maika club編集部
中津川市中津川字上金1231-1
TEL.0573-62-2522
- 《愛知県》**
NAGOYA FURIMO 各編集部
[中村・中川・港区版]
名古屋市中川区柳森町107 2F
TEL.052-355-6111
- [中央版・西区版・北区版・
名東版・天白版・南区版]
名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
TEL.052-433-1602
- 〔福井県〕**
福北フリモ編集部
名古屋市中村区六田1-150 2F
TEL.052-829-0270
- 守山フリモ
アサヒセト・ひまわりくらぶ編集部
尾張旭市東本郷ヶ原町3-53 2F
[守山フリモ]TEL.0561-42-5799
[アサヒセト]TEL.0561-42-6981
[ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971
- ゆいまるくらぶ・さんごらぶ
かなうくらぶ編集部
愛知郡東郷町北山4-1-6
[ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850
[さんごらぶ]TEL.0561-42-4885
[かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855
- Cocoon club・ちるくらぶ
北知多フリモ・西尾フリモ
安城フリモ編集部
知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1
[Cocoon club・ちるくらぶ・
西尾フリモ・安城フリモ]
TEL.0562-85-1077
[北知多フリモ]
TEL.0562-85-1078
- リブル倶楽部編集部
大山市松本町2-29
TEL.0568-39-6111
- 岡崎フリモ編集部
岡崎市明大寺町寺東9-1 5F
TEL.0564-83-7121
- セールスプロモーション部
名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
TEL.052-571-2139
- 〔三重県〕**
ぼろんくらぶ編集部
桑名市殿町2-20 1F
TEL.0594-25-9988
- Belive club編集部
鈴鹿市神戸1-10-10
TEL.059-373-4400
- よっかいちai編集部
四日市市森の森1-5-16 8F
TEL.059-325-7562
- つっぴ〜ず編集部
広城営業部
津市栄町1-840 5F
TEL.059-2137666
- リー・ガク編集部
津市栄町1-840 5F
TEL.059-2137666
- ふぁみんぐくらぶ編集部
松阪市東町596 3号棟 1-A
TEL.0598-31-3623
- イセクラブ編集部**
伊勢市岩淵3-6-5 2F
TEL.0596-63-8282
- からつと倶楽部編集部
尾鷲市坂場西町2-34 2F
TEL.0597-37-4100
- さみっくらぶ編集部
志摩市阿児町磯方2850-126 D号室
TEL.0599-65-7201
- 《滋賀県》**
ぼてじゃこ倶楽部編集部
長浜市宮司町1161-7 2F
TEL.0749-68-2577
- こんきくらぶ編集部
彦根市長曾根町2-20 1F
TEL.0749-26-0555
- オウテッククラブ編集部
近江八幡市桜宮町289 3F
TEL.0748-36-1148
- 湖南フリモ・甲賀フリモ編集部
滋賀/福井広城営業部
栗東市手原5-6-19
TEL.077-596-3335
- びわこ編集部
大津市浜大津2-1-35 6F
TEL.077-521-3911
- 《奈良県》**
かしたくらぶ編集部
橿原市基本町260-1 1F
TEL.0744-48-0606
- 《和歌山県》**
まいなま編集部
岩出市高瀬84-2 2F
TEL.0736-677630
- 《鳥取県》**
つばさ編集部
鳥取市吉方温泉3-860 2F
TEL.0857-30-6446
- くらくらぶ編集部
広城営業部
倉吉市山根540-1 4F
TEL.0858-27-0510
- こはくらぶ編集部
米子市西福原2-9-49 2F
TEL.0859-21-5400
- 《福岡県》**
マイタウン西新・姪浜編集部
福岡市早良区西新5-1-30 3F
TEL.092-833-5250
- マイタウン伊都編集部
糸島市前原中央2-3-60 1F
TEL.092-332-8223
- VC営業部**
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-214-3325
- イノベーション事業部**
東京支社
赤塚市土伏1-3-34 1F
[むなふ]TEL.0940-39-3672
[おるね]TEL.0940-39-3404
- 岐阜ブロック
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-247-2511
- 三重ブロック
四日市市鶴の森1-5-16 8F
TEL.059-325-7562
- 関西ブロック
大津市浜大津2-1-35 6F
TEL.077-521-3911
- 官公庁事業部**
イベント・セミナー部
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-248-5611
- DX開発事業部**
EC部
大垣市加賀野4-1-13
TEL.0584-74-0745
- デジタルマーケティング部
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-214-3325
- DX部
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-201-0245
- 管理本部**
経理部・総務人事部
岐阜市東興町27 2F
TEL.058-240-4005
[購買流通課]TEL.058-246-0285
- グループ会社**
株式会社アド通信社西部本社
本社(北九州営業部・業務管理部)
北九州市小倉北区塚町1-3-15 4F
TEL.093-551-4581
- 福岡支社
福岡市早良区西新5-1-30 3F
TEL.092-833-2230
- むなふ・おるね編集部
赤塚市土伏1-3-34 1F
[むなふ]TEL.0940-39-3672
[おるね]TEL.0940-39-3404
- 月刊TOSS編集部
鳥栖市藤木町2456 1F
TEL.0942-50-9619
- 株式会社中広メディアソリューションズ**
横浜支局
横浜市中央区真砂町3-38 5F
TEL.045-225-9267
- 埼玉支局
さいたま市南区南浦和2-39-16 3F
TEL.048-767-8238
- 仙台支局
仙台市若林区新寺1-2-26 5F
TEL.022-792-8101
- 株式会社ケイ・クリエイト**
本社
一宮市木曽川町里小牧寺東125
TEL.0586-86-0608
- 東尾張支社
岩倉市新柳町1-50 2F
TEL.0587-96-8331
- 西尾張支社
あま市篠田三田畑19-1
TEL.052-485-6900
- 株式会社ケイビーエス**
岩倉市新柳町1-50 2F
TEL.0587-96-8336

